

令和4年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会

なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を

目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

引き続き新型コロナウイルス感染症の対策をしながらも、子ども達に体験の場を多く作るよう工夫しながら活動を進める。

感染症も完全に終息している状態ではないので、人数制限や環境などに配慮しながら

子ども中心に活動を展開して参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念・方針の明	集まるのが困難な状況であったが、行事等もクラス単位で短い時

文化と周知	間で行い、その中で周知していった。
② 認定こども園教育・保育要領への対応	密にならないような環境を工夫し、主体的に活動できる環境を提供して行った。外部からの受け入れや、人数等は制限をしながら行った。
③ 職員の資質・保育の質の向上	今年度は暮の頃から不適切保育の報道が全国を駆け巡り、園でも色々なご意見を頂いた。法人内では不適切と危機管理の研修を3回行い、皆さんに研修内容等も開示していった。
④ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学をさせて頂き、小学校の体験を行った。光輪会は学童の子ども達と接する機会が多いが、実際の学校に行く体験は学校を身近に感じられるため、子どもたち同士による成長の見通しは立ちやすいのではないかと感じている。小学校との連携も情報交換を密にしできる活動を今後も進めて参りたい。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑥ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもたちの体験の機会をたくさん作ることを今年度は目標にして活動してきた。密にならない環境の工夫や、行事などの人数の制限はやむを得ず行ったが、保護者の皆様も子ど

もの成長の機会をご覧いただけただけではないかと感じている。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共有と自己管理について学んでいった。まずは挨拶の徹底を行っていきたい。コロナ禍で、挨拶をしないという習慣が恒久化してしまい飛沫を飛ばさない配慮ばかりに気を使っていたが、やはり挨拶のかわせるまちづくりの為に率先して挨拶ができるようにして参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	不適切や危機管理のためにも先手の挨拶を徹底し、予防を中心に進めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。
教育・保育内容	0, 1, 2歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やしながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
------	----

3 - ①	<p>コロナで世の中が希薄化となり、自分の主張をする方が多くなってきました。でも、きちんと気持ちを込めて活動していれば分かって頂いている方は沢山いると思います。引き続き頑張ってください。</p>
3 - ②	<p>活動の様子も全体でなくクラス毎にと工夫をされて開催していたことも評価できる。主体的保育にも工夫をしながら取り組んでいる様子が伺えた。子ども達の体験のために頑張ってください。</p>
3 - ③	<p>不適切保育という言葉が全国的に広がり光輪会も心配しましたが、すぐに研修内容の表示や、職員会議などの様子も開示されていたので、皆さん安心したのではないのでしょうか。</p>
3 - ④	<p>地域連携や小中学校との連携は光輪会の活動を伝えていくためにも大切な活動であると思います。色々な所で光輪会の活動の話は聞きます。これからも地域に密接した園であっていただきたいです。小学校とも少しずつでも連携をして行って頂きたいです。</p>
3 - ⑤	<p>防災・防犯はとても大切です。以前たまたま訪問した時に火災消火訓練をしていましたが、子ども達が皆号令のもと防火頭巾をかぶって避難できている様子を見ました。日ごろの訓練のたまものだと感心しました。引き続き子ども達の安全を守るべく努力して行って下さい。</p>
3 - ⑥	<p>苦情の話もありましたが、色々な価値観の方がいるのはしょうがない事で、園としてもルール作りをしっかりと行っていく必要がありますね。市が作成して頂いたモラハラポスターも素晴らしいと思います。</p>

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様には光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等を

お話ししご意見を頂いた。

コロナで色々な価値観が変化してしまい、社会の流れも速い中でどの様に活動していくのか早い判断が求められています。しかし子ども達や保護者から感謝の言葉も聞かれるという事は先生方の努力が本当に表れていると思います。

少子化により子どもの数が激減しているという話もありますが、一生懸命活動しているところは必ず皆さんが分かってくれると思います。今行われている教育・保育や地域公益活動など引き続き行っていき。光輪会の活動を皆さんに伝えていって下さい。

今後の活動をお祈りしております。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であったが、第二なかよしこども園は、修繕を行った事により経費が掛かって

しまった。修繕積立金を取り崩しそれに充てたことを報告した。

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を

目指します。

(5) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(6) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(7) 元氣になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(8) 根氣強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

引き続き新型コロナウイルス感染症の対策をしながらも、子ども達に体験の場を多く作るよう工夫しながら活動を進める。

感染症も完全に終息している状態ではないので、人数制限や環境などに配慮しながら

子ども中心に活動を展開して参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑦ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	集まるのが困難な状況であったが、行事等もクラス単位で短い時間で行い、その中で周知していった。

<p>⑧ 認定こども園教育・保育要領への対応</p>	<p>密にならないような環境を工夫し、主体的に活動できる環境を提供して行った。外部からの受け入れや、人数等は制限をしながら行った。</p>
<p>⑨ 職員の資質・保育の質の向上</p>	<p>今年度は暮の頃から不適切保育の報道が全国を駆け巡り、園でも色々なご意見を頂いた。法人内では不適切と危機管理の研修を3回行い、皆さんに研修内容等も開示していった。</p>
<p>⑩ 保幼小中の連携</p>	<p>学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学をさせて頂き、小学校の体験を行った。光輪会は学童の子ども達と接する機会が多いが、実際の学校に行く体験は学校を身近に感じられるため、子どもたち同士による成長の見通しは立ちやすいのではないかと感じている。小学校との連携も情報交換を密にしできる活動を今後も進めて参りたい。</p>
<p>⑪ 防災・防犯意識の向上</p>	<p>毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。</p>
<p>⑫ 保育指導内容検討委員会</p>	<p>当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。</p>

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもたちの体験の機会をたくさん作ることを今年度は目標にして活動してきた。密にならない環境の工夫や、行事などの人数の制限はやむを得ず行ったが、保護者の皆様も子どもの成長の機会をご覧いただけたのではないかと感じている。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共有と自己管理について学んでいった。まずは挨拶の徹底を行っていききたい。コロナ禍で、挨拶をしないという習慣が恒久化してしまい飛沫を飛ばさない配慮ばかりに気を使っていたが、やはり挨拶のかわせるまちづくりの為に率先して挨拶ができるようにして参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	不適切や危機管理のためにも先手の挨拶を徹底し、予防を中心に進めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。
教育・保育内容	0, 1, 2歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やしながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3 - ①	コロナで世の中が希薄化となり、自分の主張をする方が多くなりました。でも、

	<p>きちんと気持ちを込めて活動していれば分かって頂いている方は沢山いると思います。引き続き頑張ってください。</p>
3-②	<p>活動の様子も全体でなくクラス毎にと工夫をされて開催していたことも評価できる。主体的保育にも工夫をしながら取り組んでいる様子が伺えた。子ども達の体験のために頑張ってください。</p>
3-③	<p>不適切保育という言葉が全国的に広がり光輪会も心配しましたが、すぐに研修内容の表示や、職員会議などの様子も開示されていたので、皆さん安心したのではないのでしょうか。</p>
3-④	<p>地域連携や小中学校との連携は光輪会の活動を伝えていくためにも大切な活動であると思います。色々な所で光輪会の活動の話は聞きます。これからも地域に密接した園であっていただきたいです。小学校とも少しずつでも連携をして行って頂きたいです。</p>
3-⑤	<p>防災・防犯はとても大切です。以前たまたま訪問した時に火災消火訓練をしていましたが、子ども達が皆号令のもと防火頭巾をかぶって避難できている様子を見ました。日ごろの訓練のたまものだと感心しました。引き続き子ども達の安全を守るべく努力して行って下さい。</p>
3-⑥	<p>苦情の話もありましたが、色々な価値観の方がいるのはしょうがない事で、園としてもルール作りをしっかりと行っていく必要がありますね。市が作成して頂いたモラハラポスターも素晴らしいと思います。</p>

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にご光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

コロナで色々な価値観が変化してしまい、社会の流れも速い中でどの様に活動していくのか早い判断が求められています。しかし子ども達や保護者から感謝の言葉も聞かれるという事は先生方の努力が本当に表れていると思います。

少子化により子どもの数が激減しているという話もありますが、一生懸命活動しているところは必ず皆さんが分かってくれると思います。今行われている教育・保育や地域公益活動など引き続き行っていき。光輪会の活動を皆さんに伝えていって下さい。

今後の活動をお祈りしております。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であったが、第二なかよしこども園は、修繕を行った事により経費が掛かって

しまった。修繕積立金を取り崩しそれに充てたことを報告した。

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を

目指します。

(9) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(10) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(11) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(12) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てま

す。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

引き続き新型コロナウイルス感染症の対策をしながらも、子ども達に体験の場を多く作るよう工夫しながら活動を進める。

感染症も完全に終息している状態ではないので、人数制限や環境などに配慮しながら

子ども中心に活動を展開して参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑬ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	集まるのが困難な状況であったが、行事等もクラス単位で短い時間で行い、その中で周知していった。
⑭ 認定こども園教育・保育要	密にならないような環境を工夫し、主体的に活動できる環境を提

領への対応	供して行った。外部からの受け入れや、人数等は制限をしながら行った。
⑮ 職員の資質・保育の質の向上	今年度は暮の頃から不適切保育の報道が全国を駆け巡り、園でも色々なご意見を頂いた。法人内では不適切と危機管理の研修を3回行い、皆さんに研修内容等も開示していった。和光市の研修会にも積極的に参加した。
⑯ 保幼小中の連携	南部地区の連携会議や、和光市との小学校とも情報の交換を行いながら連携を深めている。
⑰ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑱ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子どもたちの体験の機会をたくさん作ることを今年度は目標にして活動してきた。密にならない環境の工夫や、行事などの人数の制限はやむを得ず行ったが、保護者の皆様も子どもの成長の機会をご覧いただけたのではないかと感じている。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共

有と自己管理について学んでいった。まずは挨拶の徹底を行っていきたい。コロナ禍で、

挨拶をしないという習慣が恒久化してしまい飛沫を飛ばさない配慮ばかりに気を使ってい

たが、やはり挨拶のかわせるまちづくりの為にも率先して挨拶ができるようにして参り

たい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	不適切や危機管理のためにも先手の挨拶を徹底し、予防を中心に進めて参りたい。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。
教育・保育内容	0, 1, 2歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やししながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	コロナで世の中が希薄化となり、自分の主張をする方が多くなってきました。でも、きちんと気持ちを込めて活動していれば分かって頂いている方は沢山いると思います。引き続き頑張ってください。
3-②	活動の様子も全体でなくクラス毎にと工夫をされて開催していたことも評価できる。主体的保育にも工夫をしながら取り組んでいる様子が伺えた。子ども達の体験の

	ために頑張っていたきたい。
3 - ③	不適切保育という言葉が全国的に広がり光輪会も心配しましたが、すぐに研修内容の表示や、職員会議などの様子も開示されていたので、皆さん安心したのではないのでしょうか。
3 - ④	地域連携や小中学校との連携は光輪会の活動を伝えていくためにも大切な活動であると思います。色々な所で光輪会の活動の話は聞きます。これからも地域に密接した園であっていただきたいです。小学校とも少しずつでも連携をして行って頂きたいです。
3 - ⑤	防災・防犯はとても大切です。以前たまたま訪問した時に火災消火訓練をしていましたが、子ども達が皆号令のもと防火頭巾をかぶって避難できている様子を見ました。日ごろの訓練のたまものだと感心しました。引き続き子ども達の安全を守るべく努力して行って下さい。
3 - ⑥	苦情の話もありましたが、色々な価値観の方がいるのはしょうがない事で、園としてもルール作りをしっかりと行っていく必要がありますね。市が作成して頂いたモラハラポスターも素晴らしいと思います。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様にも光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

コロナで色々な価値観が変化してしまい、社会の流れも速い中でどの様に活動していくのか早い判断が求められています。しかし子ども達や保護者から感謝の言葉も聞かれるという事は先生方の努力が本当に表れていると思います。

少子化により子どもの数が激減しているという話もありますが、一生懸命活動しているところは必ず皆さんが分かってくれると思います。今行われている教育・保育や地域公益活動など引き続き行っていき。光輪会の活動を皆さんに伝えていって下さい。

今後の活動をお祈りしております。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であったが、第二なかよしこども園は、修繕を行った事により経費が掛かって

しまった。修繕積立金を取り崩しそれに充てたことを報告した。